



新型コロナウイルス対策として、佐賀県内の小・中・高等学校及び特別支援学校においては、**明日3日(火)から15日(日)の間、休校**となりました。

本日まで各学級等においては、今年度の教育課程修了に尽力いたしましたが、十分とは言えない状況です。本日、お子様が持ち帰りますプリントやドリル等での家庭学習については、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をいただきますようお願いいたします。

来年度の始めには、今年度の学習内容について、一部補う方向で進めていきたいと思しますので、**今年度の教科書やドリル等、ご家庭での保管**をお願いします。

なお、今後の感染拡大状況により、休校期間や卒業式、修了式等の変更が生じる可能性があります。変更の場合の保護者の皆様へのご連絡は、まちコミメールにて配信いたしますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

## ～臨時休校期間中の学校対応について～

本日のまちコミメールの配信や別紙でのお知らせのとおり、感染防止のため、**基本的には自宅待機**となりますが、家庭で休校期間中に、**特段の事情があり、ご家庭での対応に苦慮される場合は**、下記のとおり、臨時的な対応として、自学自習のための教室開放を行うこととなりました。

明日3日(火)からの対応となりますが、在校時間も含めて保護者の皆様の届け出が必要となります。届け出様式等の詳細は、学校ホームページでご確認いただきますよう、お願いいたします。  
(ホームページ) <https://www.education.saga.jp/hp/kiyama-e/>

なお、届け出用紙は、3日(火)から学校でも準備いたしますので、お子様と一緒に来校いただき、ご記入ください。

- ① **特段の事情とは**・・・家に一人しかいない  
仕事を休む予定であったが、調整がつかなくなった  
放課後デイサービスが中止となって面倒を見る人がいない
- ② 対象者 1年生～6年生 **発熱や咳、のどの痛み等がなく健康であること**
- ③ 学校開放時間 月曜日～金曜日 8:00～15:00
- ④ 校時に沿った自学自習とする
- ⑤ 昼食は、家庭から弁当を持参
- ⑥ 登下校は、保護者の責任もとて対応ください



## ～卒業式について～

令和元年度卒業証書授与式は、下記のとおり、新型コロナウイルス対応に配慮し、一部変更して、3月19日(木)に予定どおり実施いたします。

保護者の皆様におかれましては、子供たちの安全確保を優先した対応となり、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

日時 3月19日(木) 9時受付開始 10時開式

- ① 場所 本校体育館
- ② **卒業証書授与式参加者(発熱等がないことを前提とします)**
  - ・卒業生(参加できない児童は、校長室での個別対応)
  - ・卒業生保護者(卒業生1名につき、保護者2名まで)
  - ・教職員
  - ・在校生(未定)
  - ・教育委員会代表
- ③ その他 **時間をできるだけ短縮して実施**いたします。  
来賓のご臨席もお断りすることとします。

## ～「ありがとう集会」（授業参観）のご参観、ありがとうございました～

明日からは休校となり、3学期はあっという間に終わってしまいそうです。学校では、今まで6年生が中心となり取り組んできた、委員会活動や登校班、なかよし縦割班等の活動を、6年生から5年生へとバトンを渡し、役を引き継ぎました。5年生は、少しずつ最上級生としての自覚が芽生えてきたようで、これからの成長が楽しみです。

2月26日（水）の2・3校時は、「ありがとう集会」を開催いたしました。これまで最上級生として、お世話になった6年生に、感謝の気持ちを伝える会として、5年生が各学年からの中心となって企画や運営に携わり、会を進めました。

1年生は、6年生へ首飾りを作り、当日は首にかけて、一緒に手をつないで体育館へ入場しました。集会では、委員会活動のバトンタッチを行った後、1・2年生は言葉かけと歌を披露しました。3・4年生はペアになり、3年生が浄書した卒業生の名前と、4年生は似顔絵を描いて、一人一人に感謝の気持ちや6年生に代わり将来の夢などを紹介しました。5年生は、6年生と過ごした5年間の思い出を映像で振り返り、6年生から学んだことや最上級生としての決意を伝えました。

各学年の発表後には6年生へ、縦割り班の子供たちから心を込めたメッセージカードを渡しました。6年生からは各学年へ、これから頑張ってもらいたいことやお礼の気持ちを込めて伝えました。

体育館は、絵や輪飾りを作って会場いっぱい飾りました。各学年の発表は、6年生への「ありがとう」の感謝の気持ちが一杯詰まった内容で、心に残る集会となりました。

6年生は、これまで、1つ1つの行事や活動に、リーダーシップを発揮し、一生懸命に取り組んでくれました。その姿は、1～5年生の良い手本となりました。6年生は、中学生への心の準備とともに、自分だけでなく、集団生活の中で、人のために役立つことの大切さを体験を通して学ぶことができたようです。

保護者の皆様も、お忙しい中にご参観いただきありがとうございました。



## ～ふれあい交流会がありました～

基山中校区小中一貫教育の取組として、特別支援教育部会では、ふれあい交流会を2月27日（木）に実施しました。今回は、基山中学校を会場として、小学校6年生を対象に、中学校1年生も参加して、2クラスに分かれて体験授業を行いました。会の始めには、若基小学校の子供たちと自己紹介を行い、国語科では、詩の朗読やしりとりゲーム、理科では、スライム作りなどを体験しました。

参加した子供たちは、当初、不安で緊張した様子でしたが、中学生がゲームのヒントを出したり、答えを出すまで待たせたりして、優しく接してくれたことで、楽しく過ごすことができたようです。また、若基小の子供たちとも打ち解けて、中学校生活の不安も少し和らいだようでした。

ご参加いただいた保護者の皆様も、活動の様子を見守っていただきありがとうございました。

